

# 静岡大生が語る



静岡大学「茶の世界」(2022年度)授業の学生レポートから

## 私たちにもっとお茶を!

「若い世代にもっとお茶を飲んでもらうには」という課題に対して彼らが語ったのは・・・

教育系のアニメではなく  
ゆる〜くお茶のある暮らしを描く

### 日常系アニメ

を制作する。世界の日常=静岡の日常にしてしまう。何も考えずに視聴できるアニメなら海外の若者にも人気あるので良い影響となるはず。

### 擬人化キャラクター

日本には様々なものを擬人化する文化がある。例えば、産地別のキャラクター商品などあれば、中から「推し」の茶を見つけファンができ、知識を得ようとする。

### コンビニとのコラボ

コンビニで高級茶のカップ売りを。サブスク制で品種茶を届ける。

### エナジードリンク

茶を用いたエナジードリンクで甘くない、これまでにないものを開発する。コンビニでもエナジードリンクコーナーがあり需要多いはず。

### 歴史的飲料としての魅力

多様な清涼飲料がある中で「味」だけを優先するという競争から切り離す。例えば、ある時代のお茶を再現したり、歴史的観光地と結び付た新商品を出すことで、歴史を味覚でも感じられる興味深い**アトラクション**になるはずだ。「学びある茶」は発信できる情報も豊富でSNSでも話題になるだろう。

### 茶聖地巡礼

お茶の聖地巡礼コースをつくり、ゲーム感覚で廻れ、お茶について学べるスタンプラリー式のアプリも開発する。必ず**SNS発信用「映え」スポット**を作っていく。

学生に「お茶の消費が減少傾向」と伝えると、「私たちはこんなに毎日飲んでるのに?」と驚かれます。授業に持参するボトル飲料はほとんどが茶類で、留学生は「日本では駅でも町の自動販売機でもコンビニでもスーパーでもどこでもお茶が買える、若者が多くお茶を飲んでる国だ」と言います。そんな学生たちが「もっと」飲むことを考えたアイデアの一部です。



### 若者はカフェ好き

おしゃれな場で**素敵**な急須と湯呑で提供してもらえたら急須で注ぐ楽しさも身につくと思う。

### 若者には健康面より美

美容に気をつかうのは男女ともに常識になってきた。緑茶に含まれるビタミンCの美肌効果などをうったえていくのが効果ある。

### 茶とアルコールの関係

仲間と集まって話をするときなど、お茶やアルコールが人と人の中をとりもつ、と大学生になって実感した。静岡にきて「静岡割」というのがあることに衝撃を受けたが、若者がお酒を飲まなくなってきた時代になったからこそ、逆に飲みやすい茶を用いた軽いアルコール飲料は好まれると思う。

### お茶を育てるスマホゲーム

茶栽培、茶製造ができるスマホゲームを制作する。



### ティーサーバー

ウォーターサーバーのように簡単に家で飲める茶のサーバーをつくる。大量に飲んでもらうにはアレンジレシピも必要になる。

まずは知ってもらうことも大切だと考えます。

私たちは授業でお茶について知ることでもっと好きになりました。

静岡大学「茶の世界」は、静岡大学の教授陣と、ふじのくに茶の都ミュージアム、県庁の茶業担当課、茶商や茶の専門家たちが講師として授業を行う学際科目で、毎年100名程度の学生が受講しています。2023年度は、静岡県立大学グローバル地域センター懇談会のメンバーからは、小二田誠二教授、戸部健教授、矢野敬一教授、吉野亜湖非常勤講師、茶商の石部健太郎氏、谷本宏太郎氏が担当予定です。

